

岐阜高専と情報科学芸術大学院大学（I A M A S）が連携協力協定を締結

岐阜高専は、2月7日にI A M A Sと教育・学術研究活動全般における連携協力協定を締結した。

この締結により、「ものづくり」の人材育成拠点として地域産業に貢献してきた岐阜高専と、情報・科学・芸術といった幅広い分野における最先端の研究で世界的にも評価の高いI A M A Sが連携し、互いの個性や強みを活かした「知のネットワーク」を形成することで、地域や産業へのより一層の貢献を図ることができる。

締結式には、江崎岐阜県商工労働部長の立会いにより、I A M A Sからは関口学長、入江研究科長が、岐阜高専からは榊原校長、白井副校長、柴田専攻科長が出席した。

岐阜高専の学生・卒業生（専攻科修了生又は学科卒業生で大卒同等と認められる者）をメディア文化・産業の先端分野で活躍する人材として育成する。両校の特色を生かし、工学とデザイン両面から新しい「ものづくり」のあり方を考え、県内企業とともに全国に発信する。情報とデザイン、製品と技術がシームレスに関係していく状況にアプローチする講座を開設する。さらに、I A M A Sの産業文化研究センターと岐阜高専の地域技術開発・教育センターの連携により、地域企業等が抱える問題解決のための多面的・総合的な支援を実施する予定である。



左から江崎商工労働部長、榊原校長、関口学長